

記載例

令和元年 7月 〇日

群馬県知事あて

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書（通信制以外の高等学校等用）

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金事業実施要綱第3条に規定する給付対象世帯に該当するため、同要綱第8条の規定により、必要な書類を添えて、以下のとおり申請します。

【申請者について】

申請者住所等	〒371-8570 群馬県 前橋市大手町 ○ー△ー□ △□アパート ○号室 電話 027(△△△)□□□□	ふりがな	ぐんま たろう
申請者氏名	群馬 太郎	群馬県内に住所がある 保護者等	
高校生等との関係	親権者 未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他（ ）		

・日付を記入してください。

※通信制課程に在学の場合は、「通信制用」の申請書をご利用ください。

・住所、連絡可能な電話番号
・申請者氏名
・高校生との関係
を記入してください。

【対象となる高校生等について】（注：対象となる高校生等が複数人いる場合には、それぞれの対象者ごとに申請してください。）

ふりがな	ぐんま はなこ		
氏名	群馬 花子		
生年月日	昭和 13 年 10 月 10 日 平成		
在学する私立学校	学校名・学年 ○○高等学校 (3年) 学校種類・課程・学科(該当にチェック・印) ☒ 高等学校(全日制・定時制) ☐ 専修学校高等課程(昼間学科・夜間等学科) ☐ 中等教育学校(後期課程) ☐ 専修学校一般課程(昼間学科・夜間等学科) ☐ 高等専門学校(1～3学年) ☐ 各種学校(外国人学校・その他) 学校所在地 群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町○ー□ 在学期間 平成 29年 4月 1日 ～ 現在		
過去の高等学校等における在学期間	学校名 立 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科 なし (回) 不明	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明
	学校名 立 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科 なし (回) 不明	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明

・生徒の氏名
・生年月日
・学校情報
・在学期間 等
を記入してください。

【保護者等の収入の状況について】

(1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。

☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書

(2) 次の者の課税証明書を提出します。

①	☒ 親権者(両親)2名分
②	☐ 親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長等の場合を除く) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等
③	☐ 未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	☐ 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	☐ 生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

(1), (2)①～⑤, (3)のいずれかについて、該当する項目(□)をチェックして下さい。

(3) 次の理由により、課税証明書を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

【学校証明欄】

次の各項目について相違ないことを証明します。

- ①本校が、高等学校等就学支援金の支給に関する法律第2条に定める学校であること
②上記生徒が記載の課程に在学しており、当年7月1日現在休学中でないこと

令和 年 月 日 学校所在地

学校名

校長名

連絡先電話番号

印

・これ以外の項目を記入した上で、生徒が在籍する学校に持参して、学校の証明を受けて下さい。

↑【学校証明欄】は学校に持参して、学校の証明を受けて下さい。

【申請区分について】

①～②の中から、該当するものを選択し、必要事項を記入してください。

①	☐	生徒、保護者等の属する世帯が生活保護（生業扶助）受給世帯	【給付額：52,600円】
保護者等が道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯			
(ア) 表面記載の対象生徒の他に、扶養している23歳未満（当年7月1日現在）の兄弟がいます。 【給付額：138,000円】			
兄弟の状況（複数いる時も、ひとり分のみ記入します。）			
☒	氏名	対象生徒との続柄	学校名・職業等
	群馬 一郎	兄	◇◇大学 2年
			生年月日 平成11年1月11日
(イ) 表面記載の対象生徒の他に、扶養している23歳以上の高校生等の兄弟がいます（当年7月1日現在）。（※（ア）にも該当するときは、記載不要） 【給付額：138,000円】			
兄弟の状況（複数いる時も、ひとり分のみ記入します。）			
☐	氏名	対象生徒との続柄	学校名
			生年月日
②	☒	(ロ) 表面記載の対象生徒の他に、扶養している弟妹が通信制の高等学校等に通っています。 （※（ア）又は（イ）にも該当するときは、記載不要） 【給付額：138,000円】	
兄弟の状況（複数いる時も、ひとり分のみ記入します。）			
☐	氏名	対象生徒との続柄	学校名
			生年月日
(エ) 表面記載の対象生徒の他に、扶養している15歳（当年7月1日現在、中学生を除く）以上23歳未満の弟妹がおり、この給付金の受給対象となる高等学校等に通っていないなどの理由により受給対象者となっておりません。（※（ア）～（イ）のいずれかに該当するときは、記載不要） 【給付額：138,000円】			
兄弟の状況（複数いる時も、ひとり分のみ記入します。）			
☐	氏名	対象生徒との続柄	学校名・職業等
			生年月日
☐ (オ) 上記の（ア）～（エ）のいずれにも該当しません。 【給付額：98,500円】			

①②のいずれかについて、該当する項目（☐）をチェックして下さい。

②の（ア）～（エ）の複数に該当する場合は、給付額は同一のため、いずれかのみのチェックで結構です。

【振込口座について】 * 申請者又は受任者（委任状が必要です）の口座に限りします。

金融機関名	○× <u>銀行</u> ・農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	フリガナ	グンマ タロウ
本支店名	△□ 本 <u>支店</u> （出張所）	口座名義	群馬 太郎
預金種別	<u>普通</u> ・当座・貯蓄		
口座番号（7桁）	0 1 2 3 4 5 6		
☐ 学校設置者による代理受領を希望します。（委任状の提出が必要です。）【上記振込口座の記載は不要】			

申請者名義の振込口座を記入して下さい。
（申請者以外の口座を振込先とする場合は、委任状を提出し、委任状の「受任者」名義の口座を記入。）
学校による代理受領を希望される場合は、振込口座の記載は不要です。

【誓約】

申請にあたり、以下の内容と別紙を確認の上、☐に ☒を記入し、自署捺印してください。

☒	この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
☒	当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従い給付金を返還します。
☒	記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請のみであり、他の都道府県への申請を行っておらず、また、行わないことを誓約します。
☒	対象となる高校生は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。
☒	当申請書の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況などについて関係する都道府県や市町村等に照会し、情報提供を受けることに同意します。
☒	申請区分が【道府県民税所得割及び市町村民税所得割額非課税】で申請する場合、生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。
令和元年 7月 ○日	
申請者氏名 群馬 太郎 印	

学校受付日 年 月 日
（※群馬県内の学校の場合のみ記入）

※本校では代理受領は行いません

各項目を確認の上、☒を記入し、日付、申請者氏名を記入、押印して下さい。

未記入でお願い致します。